

2024/1/15
東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(1月8日～1月12日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,314.0	1,321.8	1,308.8	1,313.5	▲1.9
JPY/KRW	9.0815	9.1514	9.0256	9.0523	▲0.001
KOSPI	2,584.23	2,599.37	2,517.76	2,525.05	▲53.03

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。1,314.0ウォンでオープンし、8日、9日とも前週の米雇統計を無難に通過して材料不足となる中、両日小動きとなった。10日は翌日発表の米CPIへの警戒感が意識され始め、1,320ウォンまで上昇してもみ合う展開。11日のBOK会合では予想された通り8会合連続での政策金利据え置きとなり、声明文で追加利上げの可能性についての文言が削除されたものの、総裁は利下げへの言及は時期尚早との慎重スタンスを崩さず。ドル/ウォンは終日を通してウォン高で推移し昨日の上昇幅を吐き出した。12日は前日の米CPIが市場予想を上回るも、FRBの早期利下げ観測待は根強くレンジ推移。結局ドル/ウォンは先週末比▲1.9ウォンと小幅下落した1,313.5ウォンでクローズとなった。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅いを想定する。先週は注目された米CPIやPPIを消化し、一旦イベント通過ムードの様子見で、しばらくは月末のFOMCに向けて材料を探す展開となろう。かかる中、今週は小売売上高やベージュブックの発表、FRB高官の講演に注目が集まる。足元米金利はやや低下基調で3月の利下げを織り込んでいるため、FRB高官のタカ派発言には警戒。中東の地政学リスクも高まりつつあり、今週のドルウォンは一旦先週末にかけてのドルの低下基調を巻き戻す展開を想定する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1300 ~ 1330	8.90 ~ 9.20	144.0 ~ 147.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 16日(火) 米 1月 NY連銀製造業指数
- 17日(水) 中 12月 小売売上高
- 中 12月 鉱工業生産
- 中 4Q GDP
- 米 12月 鉱工業生産
- 欧 12月 CPI 確報値
- 米 12月 小売売上高
- 18日(木) 日 11月 鉱工業指数 確報値
- 米 12月 住宅着工件数
- 日 11月 機械受注
- 19日(金) 米 1月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 日 12月 CPI
- 米 12月 中古住宅販売件数